

★6月議会 吉沢かつらの一般質問★

安心して老後を暮らせる人間市へ

介護保険制度の改善を



「孤独死・孤立死」防ぐ対策の強化

今年に入り、「孤独死」「孤立死」のニュースが相次いでいます。人間市でもこうした問題が起きています。私は、「孤独死」が起きた要因の分析や相談体制づくり、見守りの強化などを求めました。

福祉部長は「確かに要因の分析・検証は必要。市民に必要な支援が届くよう対策も検討していく」と答えました。

生活援助の時間短縮「実態把握を」

今年から介護保険制度と介護報酬が改定されました。これによって調理や掃除など生活援助の訪問介護の時間が短縮され、利用者やヘルパーさんから改善を求める声が出されています。

私が市内の実態把握を求めると、福

祉部長は「アンケートなどで把握していきたい」と答弁。また、市から国に対し改善を求めることも要望しました。

介護職員の処遇改善、調査を約束



介護報酬見直しと国からの介護職員処遇改善交付金の廃止により、介護職員の賃金改善が見込めないことが予想されます。これについては福祉部長も、市内事業者を対象に実態調査を行うことを約束しました。

今年から介護保険料が大幅に値上げされました。高齢者にとっては大きな負担となります。私は、市長に「保険料・利用料の軽減制度の拡充を行うべき」と質問。しかし、市長は「現行の制度を維持する」として拡充について否定しました。また、保険料減免制度については制度が市民に知らされておらず、ほとんど活用されていません。これについては市長も「制度の周知に努めたい」と答えました。

介護保険料・利用料減免の拡充を

今年から介護保険料が大幅に値上げされました。高齢者にとっては大きな負担となります。私は、市長に「保険料・利用料の軽減制度の拡充を行うべき」と質問。しかし、市長は「現行の制度を維持する」として拡充について否定しました。また、保険料減免制度については制度が市民に知らされておらず、ほとんど活用されていません。これについては市長も「制度の周知に努めたい」と答えました。

市が実施した一般高齢者へのアンケート調査	
問・現在の暮らしの状況をどう感じますか。	
苦しい 15.7%	合わせて58%もの人が苦しいと感じている。
やや苦しい 42.7%	
自由回答	
これ以上の保険料増額は困ります。限界です。	
介護保険料が高いです。下げてください。	
年金の受け取り額が減り、生活できない。	

介護保険料の軽減を！



日本共産党 市議会議員 吉沢かつら

フレッシュレポート

No28
2012年夏号

民主、自民、公明は国民の6割が反対している消費税増税法案の強行採決を行いました。消費税は低所得の人や中小企業に重い負担となっています。さらに被災者の生活や生業再建の足かせにもなり、絶対に増税はやめるべきです。日本共産党は消費税増税法案を廃案に追い込むため最後まで頑張ります。ご支援をよろしくお願いいたします。

ホームページ見てね！



日本共産党人間市議団のホームページをご覧ください。吉沢かつらのページは毎日更新中です！

つくば竜巻支援へ



5月、茨城県つくば市内で起きた竜巻被害のボランティアに行ってきました。

私は屋根が吹き飛ばされたお宅で、茨城県や埼玉県から駆けつけた他のボランティアの人たちと一緒に、庭に飛散したがれきの片付けを行いました。

共産党は被害が起きた直後に国会議員や地元議員が訪れ、被災者の要望を聞いて回りました。ボランティアにも沢山の人が協力し、支援を行いました。

人間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

茶娘姿で新茶PR

原発事故の影響で大きな被害を受けた狭山茶。消費者の信頼を回復するために今年は万全な検査を行っています。

市議会では狭山茶のPR活動を兼ね、茶業協会や市職員の方たちと一緒に、市内の駅前でお茶の無料配布を行いました。このキャンペーンの様子はテレビのニュースでも放映され、いいPR



になったかと思えます。

当日は、私も茶娘の姿で参加させて頂きました。

「子ども医療費」の通院はおあずけ

6月定例市議会

入院はようやく中学卒業まで無料に

今議会に提出された条例改正、補正予算など14議案は、すべて可決・成立しました。

県内で最も遅れている現状

子ども医療費支給に関する条例改正では、入院分について、現在小学3年生までとなっている支給対象を、中学卒業まで拡充するものです。

県内各自治体の医療費助成の現状は、入院分で高校卒業までが2自治体。中学卒業までは、58自治体となっており、小3までと遅れているのは、入間市のみであることが明らかになりました。この現状を重く受けての条例改正になります。



入間市内で行われた平和行進にはたくさんの方が集まり、核兵器廃絶と原発反対を訴えながら行進しました。

総括質疑のなかで、「後期5カ年計画では小学3年生までとなっている」「どれだけの財政効果が見込めるのか」など、制度拡充に批判的な声もありました。市執行部からは、「近隣他市との隔たりが大きすぎるのは問題」、「制度の拡充のため」などの答弁があり、議会最終日には全会一致で成立しました。

通院も中学卒業まで無料に

日本共産党入間市議団は、子育て支援策のひとつとして、議会で繰り返し、制度の拡充を求めてきた経緯からも、今回の条例改正には賛成し、通院も中学卒業まで無料化を検討すべきと主張しました。

市民の願い実現できる市政に

6月議会で、木下市長は今年11月の任期をもって退任することを表明しました。市長は8年前に「合併しなければ財政が破綻する」「政治生命をかける」として、狭山市との合併を強引に推し進めました。しかし、市民アンケートでは合併に「反対」が「賛成」を上回り、狭山市との合併は破綻しました。

市長は合併協議に1億3000万円もの税金をつぎ込みながら、その責任を取ろう

新日本婦人の会入間支部支部長 対馬ヨシ江さんの話

私たち新日本婦人の会は、長い間運動に取り組んできました。「やっとここまで来た。運動を続けてきて良かった。願いが大きく前進した」といった思いです。「お金の心配をしないで医者さんにかかれたら。安心して子育てのできる支援を」の市民の願いは切実です。引き続き、通院についても中学卒業まで拡大されるようみなさんと力をあわせたいと考えています。



20万人の再稼働撤回の声

7月1日入間市で市役所前に100人近くの市民が集結し平和大行進が行われました。核兵器廃絶とともに、脱原発が大きなテーマとなりました。

今、全国各地で、脱原発の動きが新しいネットワークで大きく広がっています。首相官邸前の抗議行動は、当初1000人規模だったものが、6月22日に4万5000人、29日に20万人と空前の規模に膨れあがっています。

日本共産党は原発再稼働に強く反対します。みんなで怒りの声をさらに広げ、再稼働を撤回に追い込もうではありませんか。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員
原発ノー、オスプレイ、横田基地
吉沢かつら議員
介護保険制度の改善、保険料減免拡充
安道よし子議員
子ども医療費は通院も中卒まで無料に
小出わたる議員
保育の公的責任守れ、タクシー券存続

日本共産党市議会報告

2012年7月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883